

# お盆に、図書館・歴史資料館のこと、考えてみませんか！ 「1年振り返り・市民学習会」

日 時 2013年8月14日（水）13時～16時  
場 所 武雄市文化会館 大集会室A  
会 費 無 （当日資料印刷費のカンパをお願いします。）  
資料内容 ① 武雄市図書館・歴史資料館問題集 A4横30P  
② 図書館関係者は新しい図書館をどう評価しているか  
③ 武雄市図書館・歴史資料館の前と後  
主 催 武雄市図書館・歴史資料館を学習する市民の会  
後 援 図書館友の会全国連絡会（申請中）

## 《学習会レジュメ》

- 1) 私たちの美しい図書館・歴史資料館（報告：パワーポイント）
  - 2) 壊滅的状況の図書館・歴史資料館（報告： ” ）
  - 3) この一年の振り返り（報告： 資料① ）
  - 4) 拡散する武雄モデル
  - 5) 何が問題なのか
- 5-1) 地方分権とは何か？地方自治はどうなる？  
5-2) 武雄モデルが拡散する今の状況  
5-3) 今、なぜ、図書館？（関東大震災、そして、東日本大震災の後に、）

## 《会からのメッセージ》

私たち、武雄市図書館・歴史資料館を学習する市民の会は、昨年5月、突然発表された武雄市図書館の指定管理者移行について、驚き、7月に急遽立ち上げた市民学習会です。

情報の少ない中、全国からの図書館関係者の支援・市民のみなさまからの励ましを受け、今日まで運営してまいりました。一年が経過し、ようやく図書館・歴史資料館の実態が見えるようになり、その評価・今後の学習方向などを議論する「振り返り学習会」を計画しました。

私たちは、今回の問題について、ただ反対しているわけではありません。市民一人ひとりが、図書館・歴史資料館のあるべき姿を求め・行動していかなければ、「自分の図書館を獲得する事が出来ない」と思っているだけです。今回は行政側の図書館評価では無く、初めての市民レベルの図書館評価です。

地方分権の時代は、市民一人一人の力の集積・市民力の大きさに左右されます。その力を与えてくれるのが、図書館・歴史資料館と考えます。お盆の仲日に計画したのは、故郷に帰省の皆さんに、ぜひ、聞いてほしい・ご報告しなければならない、と思ったからです。

大変お忙しいとは思いますが、お盆の仲日の3時間、どうぞ、よろしく願い申しあげます。

武雄市図書館・歴史資料館を学習する市民の会（連絡先0954-23-3355井上）